



自学・敬愛・誠実

三原の嶺より

教育目標
自ら進んで学び
自然や人を愛し
たくましく生きる生徒



令和8年5月1日(令和8年度 第2号) 発行責任者 大島町立第一中学校長

自立した学習者の育成

副校長 山本 光男

新年度がスタートし、1カ月が過ぎようとしています。少し大きめの標準服を身にまとった1年生が、緊張した面持ちで職員室を訪ねてきていた4月の始めから、少しずつ慣れてきて、大きな声で「失礼します」と扉をノックする姿が微笑ましいです。小学校から環境が変わった1年生も、進級して新たな学年の使命感を感じている2、3年生も、新年度の緊張と、疲れが溜まってきていることだと思います。もうすぐゴールデンウィークです。部活動等の遠征などがありますが、連休中はご家族で過ごすことも多いかと思います。学校生活のお話も、子どもからたくさん聞いていただき、心と体の休養になれば幸いです。

さて、今年度本校では、毎年行っている教員研究の中で「自立した学習者の育成」をテーマに進めていきます。普段あまり耳にしない言葉ですが、分かりやすく言えば、自分のやりたいことの実現に向けて、見通しをもって自分で必要な知識や力を身に付ける方法を見出すことができる子を育てようということです。自立した学習者とは、一般的には①自分で計画を立てる②主体的に実行・調整する③学びを振り返るの3つができることとされているようです。本校ではその中でも、主体的に学習に取り組むことに焦点を当て、研究を進めていきます。「主体的に取り組む」、客観的に聞けば簡単そうに聞こえるのですが、授業の中で行っていくことは、意外と難しさを感じます。子どもたちが心から「やってみたい!」「やってみよう!」「やります!」と自分なりの責任をもって取り組むようにすることが必要で、教師の側から「やってみましょう!」「やりなさい!」が出るようでは、子どもたちにとって主体的とは言えません。そこで、本校では、次の4つのポイントを意識した学習展開を考えています。

- ① 目的をもつこと
目的が自分事となっていないければ、やらされている感はぬぐえないですね。授業の導入などを工夫し、子どもたちの「やってみよう!」を引き出していきます。
- ② 選択し、自己決定すること
自分の学習に責任をもたせることは、内発的に行うことが望ましいです。まずは自分で選び、自分の責任で決める経験をたくさん積ませていきます。
- ③ 交流し、考えを広げること
いろいろな考えややり方に触れていくことは、自分の考えを拡張し、視野を広げますし、繰り返し学習に取り組む中での見通しにもつながります。
- ④ 振り返り、次の学習につなげること
自身の学習を振り返り、新たな課題を見出すことができれば、次の学習の意欲が増し、より主体的に取り組むことができます。

この4つのことは、学習だけではなく、きっといろんなことに取り組む上でも活用できることだと思います。ご家庭でも子どもたちが何かに取り組む際に意識していただければと思います。

今年度も子どもたちの学びの場がより充実していくよう、教職員も学んでいきます。

行事予定

5月
1日 開校記念日
セーフティ教室
8日 家庭訪問(始)
12日 避難訓練
14日
~16日 第3学年 修学旅行
18日 第3学年振替休日

SC 来校日
1日 8日 14日 22日 28日

19日 心臓検診
20日 眼科耳鼻科検診
26日
~27日 中間考査
28日 第3学年 都立大島高等学校訪問
29日 歯科検診
30日 進路講演会

心理士来校日
11日



異動した先生方より

重末前校長



在任中は、保護者・地域の皆様をはじめ、多くの方々に温かく支えていただき、心より感謝申し上げます。私は「一中魂」という言葉が好きでした。伝統ある学校の歴史の中で、卒業生たちから受け継いできた思いや願いを、ここかしこに感じることができました。今後も様々なものが「一中魂」という言葉とともに継承されていきますが、私もその一端を担えたことを誇りに思います。本校のさらなる発展と、生徒の皆さんの健やかな成長を心より願っております。

遠山先生



大島を離れる際、生徒の皆さん、保護者の皆様、卒業生、そして地域の皆様、本当に多くの方々に見送っていただき、大島に来て、一中で5年間を過ごすことができて、最高に幸せだったと心から実感しました。皆様と過ごした日々、思い出、いただいたプレゼントや手紙の数々…その全てが生涯の宝物です。4月からは一中の10倍近い規模の学校へ赴任します。大きな環境の変化に不安もありますが、皆様からいただいた宝物と一中魂を胸に、尽力していきます。次に皆様とお会いする時には、さらに成長した姿を見せられるよう頑張ります。「全力は美しい、全力は気持ちいい、全力は感動」この言葉は、私にとって成長を促す最高のおまじないです。これからも、一中と大好きな皆様の御活躍を、離れた場所からずっと応援しています。5年間、本当にお世話になりました！

徳長先生



皆さんお元気ですか？言葉も通じないところで生活する中で、大島に初めて来て多くの方に親切にしていもらい、皆さんの笑顔に安堵したことを思い出しました。未知だった大島で楽しい4年間を過ごせたからこそ、また新しい場所に飛び込めたのだと思います。これから色々なことが皆さんを待っています。人との出会いを大切に、恐れず挑戦してみてください。以外と何とかなるものです！心から皆さんの挑戦と活躍を願っています。ありがとうございました。またどこかで。

澤石先生



一中で過ごした5年間は全て『一中魂』につまっている気がします。コロナ禍で全ての行事ができなかった令和2年度の翌年度に赴任しましたが、大自然の中、生き生きとした一中生の姿を見て、胸が高鳴ったのを今でもよく覚えています。行事に燃える一中、普段の生活を一生懸命送るからこそ、行事がより良いものになると感じました。離任式の際に、①立場が人を変える。②ふるさと大島。③一中魂。という話をしましたが、①～③の話は全て大島で温かな人々と過ごすことによって学んだことです。自分自身も人間として、教員として大きく成長できたと思っております。新天地も伊豆諸島になりますので、大島で学んだことを全力で生かしていきたいと思えます。5年間本当にお世話になりました。ありがとうございます。『一中魂』がこれからも引き継がれ、一中が更により良い学校になることを願っています。

吉村先生



5年間、この大島で過ごすことができたことを、心より嬉しく思います。在任中は、生徒の皆さんをはじめ、保護者の皆様、地域の方々との関わりの中で、感動的な経験や温かいつながりを何度も感じる事ができました。気が付けば、夜船で島に帰り、岡田の坂を上るたびに、「ああ、落ち着くな」と感じるようになっていました。もう、すっかり“島の生活”が体に染みついていたのだと思います。私にとって大島は、実家のように安心できる、かけがえのない故郷となりました。大島を離れることは大変寂しいですが、ここで得た多くの学びや経験を胸に、今後も温かみのある教育を続けてまいります。また、いずれ「やっぱり帰ってきました」とひょっこり現れるかもしれません。その際は、どうぞ温かく迎えていただければ幸いです。5年間、本当にありがとうございました。

安木先生



このたび、品川区立東海中学校へ赴任しました。本校在籍中は一中魂を体現した皆さんのひたむきな姿や日々の授業や行事に一生懸命取り組む姿に何度も心を動かされました。また、保護者の皆様には、日頃より温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。皆様の支えがあってこそ、安心して教育活動に取り組むことができました。本校での経験を胸に、新たな赴任先においても生徒一人ひとりの可能性を広げられるよう努めてまいります。これまで本当にありがとうございました。皆様の今後のご健勝と本校の更なる発展を心よりお祈り申し上げます。

第三応援歌

ああ 勝てり勝てり
なんたる誉れ
胸はおどり ころろはいさむ
一中は勝てり

異動された先生方のこれまでの一中への功績を讃えるとともに、これからの更なる活躍を祈念し、第三応援歌を送ります。

先生方、一中魂を胸に、今後も頑張ってください。